

2012年6月18日

内閣総理大臣
野田佳彦 殿

脱原発をめざす首長会議
世話人 桜井勝延 (福島県南相馬市長)
三上元 (静岡県湖西市長)
村上達也 (茨城県東海村長)
事務局長 上原公子 (元東京都国立市長)

大飯原発再稼働決定に強く抗議する

「脱原発をめざす首長会議」は、5月14日柳澤経産副大臣に面会し、大飯原発の再稼働については周辺の基礎自治体、周辺住民の合意形成の手続きを重視し、拙速に強行しないことを求める、要請を行なった。しかし、政府は脱原発依存を標榜しているが、その基準や手順、工程表も提示しないまま、さらに周辺住民の合意を得ることもなく、6月16日、閣僚会議を開き、大飯原発の再稼働を正式に決定したことは誠に遺憾である。

原発に依存しない地域づくりをめざす全国35都道府県の市区町村長のネットワーク「脱原発をめざす首長会議」はこれに強く抗議する。

- 1) 原子力規制組織発足前に暫定的な安全判断基準で原発の再稼働を決定することは、国民の原発の安全性に対する懸念を無視したものである。
- 2) 福島事故の実態に鑑みれば、原発立地自治体の合意のみでは再稼働の条件として不十分である。原発から100キロ程度の広域の住民同意を得る手段を講じるべきである。
- 3) 福島原発事故の原因究明、責任の所在糾明が済んでいないなかでの再稼働の決定は拙速である。
- 4) 福島県の被災者の生活状況は深刻化する一方で救済への指針が未だ不明確である。

以上

本件連絡先 「脱原発をめざす首長会議」事務局
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-6F
TEL:03-6851-9791 FAX:03-3363-7562
HP:<http://mayors.npfree.jp/> E-mail:mayors@npfree.jp